

第36回東海高等学校バスケットボール新人大会

男子1回戦

試合日 2023年2月11日
 会場 エコパアリーナ
 コート Aコート
 開始時間 12:50

TEAM A				TEAM B
愛知工業大学名電 (愛知)	60		72	富田 (岐阜)
	23	-	14	
	9	-	18	
	14	-	23	
	14	-	17	
		OT		

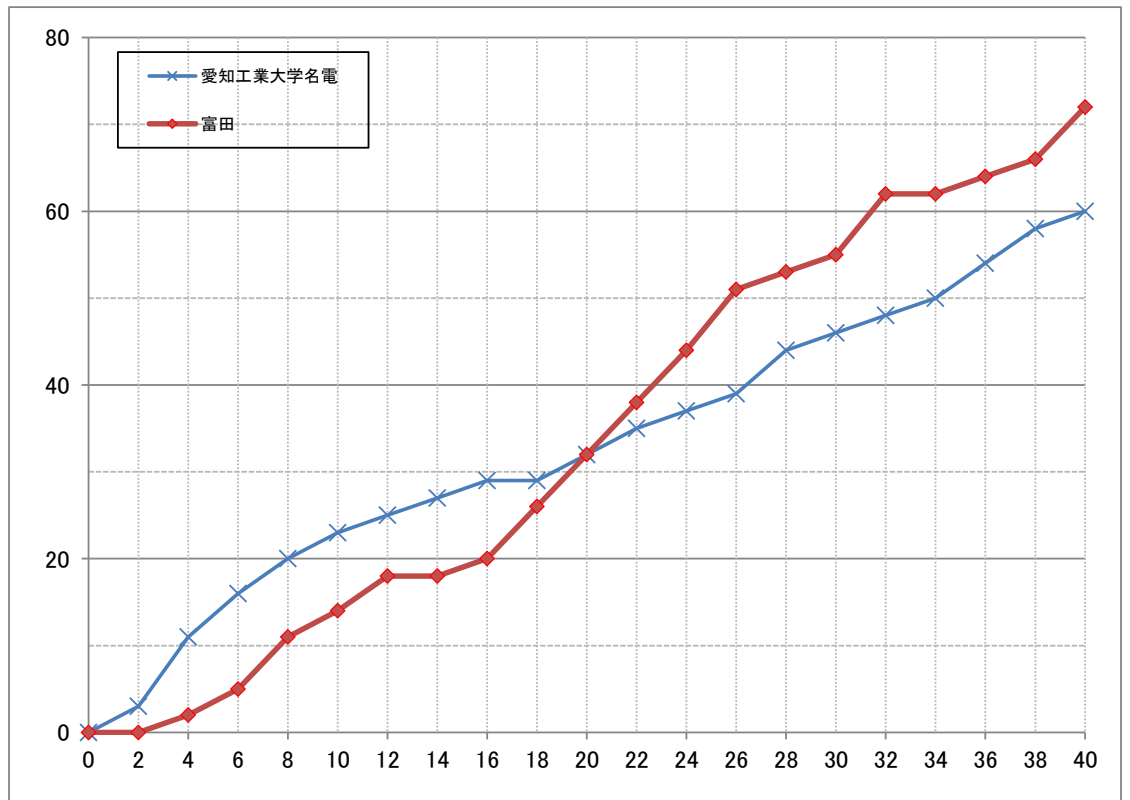
TEAM A 愛知工業大学名電 (愛知)

No	S	選手名	PTS	3P	2P	FT	F
0		深田 大揮	0	0	0	0	1
2	*	小林 慎一朗	10	1	2	3	2
3	DNP	小屋敷 夢斗	0	0	0	0	0
9	DNP	堀本 翼	0	0	0	0	0
15	DNP	吉田 柊汰	0	0	0	0	0
20		和田 桜典	2	0	1	0	1
21		石川 雷蔵	0	0	0	0	1
26		小川 寛太	0	0	0	0	0
34	DNP	北川 陽	0	0	0	0	0
35	*	大濱 貫太	12	4	0	0	1
46	DNP	高橋 朋大	0	0	0	0	0
72	*	真子 剛嘉	11	0	4	3	3
73	DNP	伊藤 愛叶	0	0	0	0	0
75	*	玉井 心	18	2	5	2	4
84	*	中西 優介	7	0	3	1	3
TEAM/COACH			/	/	/	/	0
TOTAL			60	7	15	9	16

TEAM B 富田 (岐阜)

No	S	選手名	PTS	3P	2P	FT	F
4	DNP	岩本 耀大	0	0	0	0	0
5	*	保坂 幹希	13	1	2	6	3
6		シセアサン	27	0	12	3	1
7		阿部 瑛里桜	11	3	1	0	2
8	*	高木 元道	5	1	1	0	2
9	DNP	高堂 信虎	0	0	0	0	0
10	DNP	梶原 理央	0	0	0	0	0
11	*	山岸 直史	6	0	3	0	4
12	*	久保田 伊吹	2	0	1	0	2
13	DNP	吉永 清竜	0	0	0	0	0
14	DNP	遠藤 寛太	0	0	0	0	0
15	DNP	近藤 伶哉	0	0	0	0	0
16	DNP	大場 優輝	0	0	0	0	0
17	DNP	野崎 煌弥	0	0	0	0	0
18	*	畑尻 史人	8	0	4	0	3
TEAM/COACH			/	/	/	/	0
TOTAL			72	5	24	9	17

【得点経過】



【戦評】

1Q
 愛工名電はマンツーマンディフェンス、富田は2-3ゾーンディフェンスでスタートする。愛工名電は#35大濱のスリーポイントで先制する。対する富田は#5保坂の1対1からオフェンスを仕掛けるが、ターンオーバーが続く、得点のチャンスをつかめない。愛工名電は富田のゾーンディフェンスに対して、スリーポイントを中心に点数を重ね、開始4分、11-2と愛工名電リードとなったところで、富田はタイムアウトを取る。その後、両チームとも激しいディフェンスによってファールが増え始める中、富田は#6アサンのゴール下で攻めのきっかけを作ろうとする。しかし、その後も愛工名電は#72真子を中心に攻め、富田のゾーンディフェンスを崩し、23-14と愛工名電リードで1Q終了。

2Q
 両チームともディフェンスを変えずにスタートする。愛工名電#84中西が先制するが、富田も#6アサンが決め返す。愛工名電は#2小林のドライブや、#75玉井、#72真子のゴール下等から得点を上げるが、富田#6アサンを止めようとするあまりファールが増え、得点が止まる。対する富田もゾーンディフェンスで相手のリズムを崩し始め、#6アサンのゴール下、#5保坂のミドルシュート、#18畑尻のブレイク等で点差を詰め、32-32と同点で2Q終了。

3Q
 両チームとも前半とディフェンスを変えずにスタート。富田はディフェンスのプレッシャーを強め、#11山岸、#18畑尻が連続で得点を決める。対する愛工名電も#35大濱のスリーポイント、#84中西のゴール下で応戦するが、富田#7阿部が連続でスリーポイントを決め返す。愛工名電はディフェンスリバウンドを取るが、なかなかシュートが決まらない。富田はディフェンスでプレッシャーをかけ、攻めの起点を作って勢いを緩めず、残り3分を切ったところで愛工名電がタイムアウトを取る。タイムアウト明け、愛工名電も#2小林のスリーポイントを決めた後、ゾーンプレスを仕掛けるも主導権を握れない。その後、両チーム一進一退の状態が続く、55-46と富田リードとなって3Q終了。

4Q
 富田#6アサンのゴール下で先制し、#5保坂のスリーポイントも決まり、勢いが止まらない。愛工名電も相手のゾーンディフェンスに対して、攻めあぐみ、なかなか攻撃のチャンスをつかめない。残り5分を切ったところで、愛知名電がタイムアウトを取る。タイムアウト明け、愛工名電#75玉井がミドルシュートを決め、ゾーンプレスから相手のミスをおうとするが、得点が決まらない。両チームとも得点の決まらない時間帯が続く中、#75玉井が連続で得点するが、富田は#6アサンが落ち着いてゴール下を決める。富田は#6アサンのゴール下を中心に攻め続け、終始リードを譲らず72-60と1回戦を勝ち上がった。